

発行部門 ISO事務局	環境ニュース	2006年3月9日(木)発行 第九号(3ページ)
* 廉価アクセサリ-に有害鉛を含有、指針値の56倍も、都が規制を国に要請 *		
<p>百円から千円程度の価格で販売されている金属製アクセサリ-類に有害な鉛が含まれ、健康被害の防止策が必要だとして、東京都は国に規制措置を取るよう要請した。東京都は乳幼児が誤って飲み込まないよう注意を呼び掛けている。</p> <p>東京都が76個の商品を調査したところ、携帯電話のストラップやブレスレット、イヤリング、ピアス、リング、ネックレス、ヘアピンなどの57個が鉛を含み、32個は含有率50%を超えた。</p> <p>飲み込んだ場合を想定し、21個の溶出検査をした結果では、14個が米消費者製品安全委員会(CPSC)の暫定指針値を超えた。うちブローチは指針値を56倍も上回っていた。</p> <p>商品は中国、韓国製などで、東京都は子供が誤飲した場合、脳障害や神経系への悪影響を生じかねないとしている。</p> <p>米国では昨年2月からCPSCの指針値を超える金属製アクセサリ-類は子供への危険性を考慮し回収している。東京都は国内では雑貨類の鉛規制がないため昨年9月から調査していた。</p>		
* イルカの筋肉から高濃度の水銀 *		
<p>先月末、千葉県一宮町の九十九里浜に打ち上げられたイルカの一種、カズハゴンドウの筋肉から国の暫定基準値の十倍を超える水銀が検出されたことが、北海道医療大の遠藤哲也講師の調査で3月7日、分かった。</p> <p>国内で一部地域で食べられているコピレゴンドウなどのイルカには高い水銀値のものがあることは知られていたが、データがなかったカズハゴンドウも同様に水銀が蓄積していた。</p> <p>遠藤講師らは死んだカズハゴンドウ十数頭の筋肉、肝臓、腎臓の総水銀量を調査。筋肉から国の暫定規制値の1k(キロ)あたり0.4mg(ミリグラム)を大幅に上回る平均4.5mgの水銀を検出。最高値は11.0mgだった。</p>		
* エコマーク認定商品紹介 *		
<p>『腕時計』 セイコーウオッチ(株)のセイコー腕時計35ブランドが、昨年6月に新規制定されたエコマーク商品類型No.134『時計』の認定基準をクリアした腕時計として、初の認定を取得しました。</p> <p>今回の認定は、同時に35のブランドについて新規に認定を受けた点でも注目されます。</p> <p>同社では今回、新商品類型No.134『時計』の基準制定に伴い、ソーラー電池以外の駆動源による時計でも、環境負荷低減に配慮されたものであればエコマーク認定の取得が可能になったことを受け、エコマークの認定の申請をしたものです。</p> <p>認定を取得した駆動源は、キネティック(発電水晶)、スプリングドライブ(ぜんまい水晶)、ソーラー水晶、長寿命一次電池、メカニカル(ぜんまい機械式)と多岐にわたっています。</p> <p>また、認定商品の中には、『クレドール』、『グランドセイコー』、『セイコーガランデ』など高価格商品も多数含まれており、今後も多様な分野、幅広い価格層のエコマーク商品が市場に提供されることにより、エコマークに対する認識が高まるとともに、多くの消費者が環境に配慮した商品を購入する機会が広がることが期待されます。</p> <p>なお、セイコーウオッチ(株)では、商品カタログの中でエコマークの表示を行い、消費者へのアピールをされるそうです。</p>		
『モップ』		
<p>昨年11月に(株)ダスキンから販売された『ノンオイルモップ・エコ』が、市場で好評を博しています。</p> <p>『ノンオイルモップ・エコ』は、工場などで出た未利用繊維をパイル部の一部に使用したモップで、(株)ダスキンのモップとしては最初のエコマーク認定商品です。</p> <p>紡績時に発生する短繊維、衣類等の製造時に発生する裁断クズ等を綿状に分解・再生した繊維を利用したパイルを10%以上使用するなど環境に配慮。また、吸着剤加工をしていないため、表面加工等がなされていない天然素材を利用した床材などでも利用可能となり、大理石や白木などの床材を使用した施設等において利用が広がっています。</p> <p>(株)ダスキンではこの他にも、『オーダーメイドマップ エコ・吸塵・吸水タイプ』などのエコマーク認定商品があり、同社のホームページでは環境への取組みが掲載されています。</p>		
環境クイズの答え		
1. の答え(B)の1400リットル	2. の答え(B)の4位	3. の答え(C)のごみ
4. の答え(A)の23本	5. の答え(B)のグリーンコンシューマー	
以上		